土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　有地川　通常砂防事業に伴う業務委託(堰堤補修)

事業名 または 工事名　有地川　通常砂防事業

調査目的及び調査対象　砂防 ダム・溜池

ボーリング名	Bor.E.1	**調査位置**	広島県福山市芦田町下有地			**北緯**	34° 30′ 16.7545″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2022年 9月 30日 ～ 2022年 10月 3日	**東経**	133° 15′ 42.6695″
調査業者名		**管理技術者**		**担当者**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. +171.20m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 18°
総削孔長	6.00m					**使用機種**	**試錐機**：ワイビーエム製YBM-05型
							エンジン：ヤンマー製NFD8型　**ポンプ**：丸山製作所製MS413型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	167.50	3.70		玉石混じり砂礫		淡褐灰	rd2			玉石～転石主体で、間隙に砂礫が充填する様相の土石流堆積物。最大コア長20cm程度の転石確認。 所々に空隙あり。 1m以深は送水掘削するが、ほとんど逸水する。 深度3.6m～3.7m間、岩塊の間に細粒分混じり礫質砂が充填。	10/03 2.50
4 5 6	165.20	6.00		流紋岩		暗青灰				3.7m以深、暗青灰色を呈した硬質な岩質の火成岩が、亀裂面により5～20cm程度の岩片～短柱状で分離するものの、円柱状に組合わせることができるため、基盤岩と判定した。 岩石はガラス質で斑晶は少なく主に細粒の石基からなることから、流紋岩と判定した。 割れ目は角度70～80度程度の高角度の節理と思われる平滑な亀裂が主である。 割れ目が発達するため、10cm以下にコアは割れやすく、RQDは10～20%程度である。	

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）：(1,2,4)　(3,5,1)　(2,2,8)　(貫入不能)　(貫入不能)　(貫入不能)

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	1.15 / 1.45	1	2	4	7/300		
9	2.15 / 2.45	3	5	1	9/300		
12	3.15 / 3.45	2	2	8	12/300		
	4.15 / 4.15	貫入不能			50/0		
	5.00 / 5.00	貫入不能			50/0		
	6.00 / 6.00	貫入不能			50/0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					9/30
					10/1
					10/3